

教科・科目	SAGAs・AS科学探究 I	学年	高校Ⅱ年	単位	2	分類	必修
教科書	特に使用しない						
副教材	「課題研究メソッド」(啓林社)						
目標	(1)理数分野の高度な課題研究に取り組み、理数研究に必要な専門的スキルを身に付けるとともに、科学的な探究能力や問題解決能力等を育む。 (2)海外連携校との協働による課題研究に取り組み、科学者・技術者に必要なグローバルマインドや共創力を身に付けさせる。						
年間授業計画(進度)							
	単元	学習内容	時数	目標・内容の具体			
4～7月	課題研究	研究ガイダンス 課題研究テーマの設定 課題研究の遂行	7	課題研究のテーマを設定する。 事前調査などにより仮説をたて、予備実験・本実験を行う。			
	高大接続 先端研究実習	事前学習 大学との連携事業	4	研究者の講義等により、専門的な知識を身に付けるとともに、研究時の科学的手法について知る。			
	フロンティアサイエンス 講義	専門家による講義	2	研究者の講義により、専門的な知識を身につける。			
8～12月	課題研究	課題研究の遂行 学会等での課題研究成果の発信	12	必要に応じて仮説修正や追実験を行う。 研究成果の外部発信を行う。			
	先端科学研修	事前学習・事後学習 専門的施設の訪問	7	研究施設・大学における講義・施設見学・体験実習により、先端的な研究開発に対する興味・関心を高め、科学と社会・人間生活との関わりについての理解を深める。			
	韓国海外研修	事前学習 現地生徒との交流	9	課題研究の内容等について、海外生徒との交流により、その理解を深める。			
	海外交流	海外生徒との交流	3	海外生徒との交流を通して、国際社会におけるリーダーとしての素養を身につける。			
	フロンティアサイエンス 講義	専門家による講義	2	研究者の講義により、専門的な知識を身につける。			
	科学と倫理	専門家による講義	2	研究者の講義により、科学研究と倫理の関係を知り、倫理的な態度を身につける。			
	高大接続	大学との連携授業・実習	8	大学との連携により、専門的な知識を身につける。			
1～3月	課題研究	課題研究の遂行 学会等での課題研究成果の発信 論文作成	7	研究成果を整理する。 研究成果の外部発信を行う。 研究成果を論文として整理する計画を立てる。			
	海外交流	海外生徒との交流	7	海外生徒との交流を通して、国際社会におけるリーダーとしての素養を身につける。			
評価規準	課題研究遂行のための能力	科学的な手法を身につけ、その手法を用いて課題を考察することができる。					
	課題研究遂行のための知識・理解	研修等を通して、高度・専門的な知識を身につけることができる。					
	国際的な態度	海外交流・研究連携等を通して、国際的な素養を身につけることができる。					
	関心・意欲・態度	自主的・自立的に課題等に取り組むことができる。					
評価の方法	授業中の様子、課外での発表の様子などを総合的に判断し、ルーブリック等をもとに評価する。						
備考	年間授業時数：70時間 2単位のうち1単位分は通常授業外で実施						